



コロナ下での活動継続に向けて



暑さ寒さも彼岸までと言われますが、申し合わせたように涼しくなりました。向寒の折インフルエンザと新型コロナウイルスの更なる流行が懸念されますが、会の皆様はどのようにお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルスの影響で会の活動も2月の患者会以降、総会、講演会の中止、延期となりましたが、役員会では、コロナ禍においてもどのように運営していくべきかを討議しております。

9月27日には7か月ぶりに患者会を開きました。チラシを見ての事前申し込みは残念ながらありませんでしたが、当会のホームページに出会い、会の活動趣旨に賛同し会員になっていただいた方との新しい出会いの場となりました。

今後の患者会の運営に際して、会場に来られる方と同時に、自宅から出られないがん患者さんとも繋げられるようにZOOMアプリの利用も提案を頂きました。

役員会でも新型コロナの影響を受け、患者会や講演会でもリモート、オンラインの活用必要性を検討していた所でしたので具体的に話を進めるきっかけにもなり、背中を押していただいたことに感謝しております。

また、11月28日、29日をメインに行う府中市民協働まつりでもオンライン主体での開催となりました。当会もオンラインで参加し、会の活動について情報発信すべく準備をしている所です。

そして、12月13日の講演会では、5月に延期となった「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)をはじめませんか」講師:調布東山病院 副院長 中村ゆかり先生 = を予定しております。講演会においてもコロナ禍の予測がつかない状況においては講師と会場をオンラインで繋ぐことも視野に入れて準備しております。

2001年発足のきっかけは秦野のピースハウスホスピス病院や桜町病院内ホスピスのように、がんになっても独りでも安心して最期まで過ごせる施設を府中にも建てたいと願い活動を続け、施設から在宅へという時代の流れに併せ、がんケアについて幅広く学び、啓発していくべく、「ホスピスを考える」から「がんケアを考える」と変化し、来年で20年を迎えます。これからも時代の流れに沿った活動を常に模索しながら進んでいかななくてはなりません。

アンケートでは皆様から貴重なご意見も数々頂いております。



これからも皆様の声をしっかり受け止めて取り組んでいきたいと思ひます。

12月の講演会では、新型コロナの収束を願いつつも、感染防止対策やソーシャルディスタンスを保ちながら、会員、患者会の皆様とお会いできますことを楽しみにしております。

引き続き皆様のご支援、ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

会員・参加者から寄せられた声と今後の展望

府中がんケアを考える会では、これまで様々なテーマで講演会等を開催し、会員や参加者から様々な声をアンケートやメール等を通じてお寄せいただきました。

皆様から頂いた声の中に、当事者やご家族の想いや本音が詰まっているとの認識から、改めて振り返り、読者の皆様と共有し、本会の活動や取り組みに活かして参ります。

アンケートでは、大きく3つの項目について取り上げてきました。

1. がんケアについて知りたいこと

- 最新の治療動向情報、
- 再発したときにケアを受ける方法、
- 当事者の家族の思いや生活の工夫の仕方、
- 緩和ケア病棟の満足度調査の情報、
- いつからがんケアを始めるべきか等

最新の治療動向や、緩和ケア病棟の満足度調査の情報など、医療的な情報提供を望む声、そして、がんケアを受ける方法や時期について、詳しく知りたいという声が多く寄せられました。当会としても、しっかりと向き合い、取り組んで参ります。

2. 当事者で必要だと思ふ支援や情報

- 治療費など経済的な支援や情報、
- 行政の支援と情報、
- 緩和ケアとホスピスの必要性と情報、
- 抗癌剤の副作用の対処方法、
- 知りたいことを教えてくれる場所の情報、
- 当会の活動予定の情報、
- 自宅で最期を迎えたい人ばかりではなく、在宅に不安を持つ患者、負担を感じる家族も多いと思うので、会発足当初からの”ホスピスを考える”という主旨もなくならないでいただきたい。
- 一人暮らしでの医療や福祉の支援情報、
- 地域の主治医が緩和ケアの知識がないのが悩み。

上記の声を拝見すると、多岐にわたる分野で必要だと考える支援や情報があると改めて認識しました。特に治療費などの経済的な支援や情報を必要とする声は多く見受けられました。同時に、一人暮らしのがん患者となると、医療や福祉のみならず、社会的なサポートの必要性も出てくるものと考えます。特に15歳から40歳未満のAYA世代と言われる若年層では、介護保険が適用されず、また小児がんとならないため、自己負担が重くなることはこれまでも指摘されてきました。重要な課題として、今後の解決に向けた政策提言につなげていきたいと思ひます。

3. 当会へのご意見・ご要望

- 講演会や勉強会を定期的に継続してほしい、
- 府中市の患者のネットワークを継続してほしい、
- テーマを決めて患者会を開催してほしい、
- 現場を知る有識者のお話をうかがいたい。
- 部位別の交流できる会の設置を希望します。
- 部位別のがん経験者の事例を話す機会を希望。
- 体験談をもっと聞きたいです。
- 女性の方の体験談をもっと聞きたいです。
- 具体的な患者の声を自治体や医療施設へ求める活動を望む。
- 施設見学の計画は、会員も参加できるようにしてほしい。

講演会、患者会、施設見学会、政策提言活動に関する声をいただきました。それぞれ頂いたご意見を役員会でもしっかりと検討し、会員の皆様に報告するよう取り組みます。

皆様からいただきました貴重な声に心より感謝を申し上げます。有難うございました。

稲津記

bb

「人生会議(ACP)」って何？

宮田乃有



「人生会議」という言葉をお聞きになったことはありますか？

「人生会議」とは、「もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組」のことで。

これまでは「アドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning: ACP)」として啓蒙されてきましたが、2019年に厚生労働省が愛称を公募し、「人生会議」と名付けられました。

「人生会議(ACP)」の目的は、単に「延命処置等をするかしないか、どこで最期を迎えるかを事前に決めておくこと」ではありません。元気なときから「自分がどんな人生を生きてきたか、どんな価値観をもっているか、もしものときにはどうしたいか」について家族や親しい人と共有しておき、状況の変化に応じて医療・ケアの専門職と「繰り返し」話し合いながら意志決定していくプロセス(過程)が重要です。

今は「延命治療は望まない」「要介護になっても家で過ごしたい」と思っている人も、実際に病気になったり年齢を重ねたりすると、「そのとき」の体や心の状態、そのときある医療やケアの選択肢によって、「何を望むか」が変わるのによくあることです。

「もしものことが起きた「そのとき」に、自分の人生観や価値観・希望にそった医療・ケアを具体的に選択できるようにする「人生会議(ACP)」を、少しずつ始めてみませんか。

<参考>

厚生労働省・神戸大学

ゼロから始める人生会議「もしものとき」について話し合おう

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/jinsei/>

府中図書館がん関連書籍コーナーのご紹介

中央図書館(ルミエール)の4階、一番奥右側のがん関連の書籍コーナー、「がんに関する本」があります。



各部位のがんに関する解説書、治療法に関する本、副作用の本など多様な書籍がそろっています。

がんセンター発行の小冊子は持ち帰り可能なものもあります。全般的に最新の刊行物が少ないような印象ですが、一通りの分野を網羅しています。

最新、あるいはコーナーにない本を希望の場合、図書館に貸し出しカードを登録の上、希望の本をリクエストすればほぼ購入してもらえます。

専門的な本は高価ですから図書館にリクエストしてみましょう。向かい合わせの本棚にはその他の病気の書籍が並んでいます。情報収集のため利用をお勧めします。



ただし体験記、闘病記などはないようです。エッセイ、随筆などに分類されているのだと思います。

わからないときは相談窓口の司書の方に訊いてみましょう。本に関してはかなりめんどうくさい相談にも応えてくれます。本のプロはすごいです。

本の名前がわからなくても「こんなことを調べたい」と質問すれば何冊か関連図書を紹介していただけます。

会計よりのお願い

総会も開けない中、会員の皆様にあつては会費のご送金有難うございます。心より感謝申し上げます。

前回納付いただけなかった方には振り込み票を同封いたしますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

今年～来年の予定

予定変更、中止になる可能性があります。いずれの催しも当面参加人数に制限があります。できる限り事前の確認、参加予約をお願いします。

日時	行事	会場
11月22日(日) 午後1時30分	患者会	プラッツ 第7会議室A
11月 1日～29日	府中市民協働まつり	ネットで開催
12月13日(日) 午後2時～	講演会	ルミエール第1, 2会議室
1月31日(日) 午後1時30分	患者会	プラッツ 第6会議室B
3月30日(日) 午後1時30分	患者会	プラッツ 第6会議室

編集後記

ようやく9月の患者会を開催することができました。参加者は限定されましたが今後の道筋をつけることができました。4, 5, 6月は仕事も限定されお手上げでした。この状況がすぐ終わるとは思えません。あと1～2年しのぐことを考えています。このところ中国 SF「三体」に興奮しています。

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0053 府中市天神町3-7-47 武智 一雄
電話 090-7729-4429 Mail: ktakechi@fuchugancare.org